

施策調査専門委員会の検討状況について

【第54回施策調査専門委員会（R3.2.8）】

- ＜議題＞
- 1 第4期における経済評価の実施について
 - 2 特別対策事業の点検結果報告書（令和元年度実績版）について
 - 3 令和3年度の委員会開催スケジュール等について
 - 4 森林環境譲与税の令和元年度実績について

＜主な意見等（要旨）＞

【議題1】第4期における経済評価の実施について

- 前回（第53回施策調査専門委員会）確定した事項（実施目的、評価の対象・期間等）を確認し、経済評価を実施するために具体化すべき事項（手法、評価結果の分析や活用方法等）について議論を行った。
- 代替法はわかりやすいため、欧米においても森林の評価を行う時に使われている。ただし、いくらかでも高い設定（代替技術など）が可能である点に問題があるので、あくまでも標準的なもので代替する必要がある。市民の幸福に関わる部分は代替法では評価できないので、その点は市民に直接価値を出してもらうことが望ましい。
- 経済評価において評価する機能や便益に関して、SDGs やグリーンインフラストラクチャーという副次的な効果も重要である。
- 支払意思額を問う場合には、回答者の属性を確認することも有効である。回答者の価値観が支払意思額に影響すると考えられているため、その影響を解析することは有意義である。
- 副次的な効果を測る場合にも定量的に示すことのできるデータがあるも事業を評価対象とすることになる。
- 施策大綱事業全体の評価をCVMで行い、特別対策事業の中で、機能を直接貨幣換算できるところについては代替法で評価を行う方向で検討している。

【議題2】特別対策事業の点検結果報告書（令和元年度実績版）について

- 県民会議委員に対して行った意見照会（1回目）での意見内容と対応方針を確認し、修正を行った。
- 全体総括（案）の2段落目末尾の記載について一般的な記述になっており、実際にどのような取組を行うのかということが見えてこないため、もう一度記載内容を検討してほしい。

【議題3】令和3年度の委員会開催スケジュール等について

- 事務局より令和3年度の委員会開催スケジュール（案）を説明し、意見交換を行った。
- 委員会開催スケジュール（案）が委員会にて承認された。

【議題4】森林環境譲与税の令和元年度実績について

- 各自治体への譲与額に対し全体的に執行率が低い理由を確認したところ、林野庁の調査によれば、初年度である令和元年度は譲与額が少ない自治体の多くが基金化して貯めた上で翌年度以降の活用を考えているとのこと。今後も積み立てを継続するというようになってくると確認が必要になると思われる。

- 県としても県内の市町村に対し、積み立てるだけでなく活用するように伝えているため、今後は執行率も高くなっていくものと想定される。

【 その他 】 第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画骨子案に対するパブリックコメント結果について（報告）

- 水源環境保全課よりパブリックコメント結果概要を報告した。